

正式名称	尾瀬国立公園
場所、 アクセス	<p>尾瀬ヶ原、尾瀬沼方面への列車による代表的な入山ルートを示す。</p> <p>①上越新幹線・上毛高原または JR 上越線・沼田から路線バスを利用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸倉でシャトルバスに乗り換え鳩待峠で下車し、尾瀬ヶ原へ ・大清水で下車し、三平峠を越えて尾瀬沼南岸へ <p>②野岩鉄道・会津高原尾瀬口から路線バスを利用。沼山峠で下車し尾瀬沼東岸へ</p> <p>詳細は、 http://www.oze-fnd.or.jp/main/banner/download/download1files/trekking%20guide.pdf</p>
ここがお勧め！	<ul style="list-style-type: none"> ・尾瀬ヶ原は、本州最大の高層湿原。春夏秋冬、素晴らしい自然が堪能できる ・昭和 30 年代に踏み荒らされてしまった湿原の植生復元作業が行われており、（財）尾瀬保護財団ボランティアに登録するとその作業に携わることができる
尾瀬における 植生復元、自然 保護活動	<ul style="list-style-type: none"> ・尾瀬国立公園は、平成 19 年、29 番目の国立公園として、日光国立公園から分離・独立。群馬、福島、新潟、栃木の 4 県にまたがる山岳地帯に位置し、尾瀬ヶ原、尾瀬沼に加え、これらを取り囲む至仏山、燧ヶ岳、会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山などを含む ・人が踏み荒らした植物やむき出しになった土が雨に流されてしまった場所をもとの自然に近い状態に戻す作業を「植生復元」と言うが、尾瀬では、40 年近くその作業が続いている ・試行錯誤の結果、現在では、発芽率が良いこと、種子が採取しやすいことなどから「ミタケスゲ」の種子を利用することが多い。「ミタケスゲ」は、播種地のなるべくそばで採取したものが良いそうだ。なお、場所によっては、ヌマガヤ、ヤチカワズスゲ、ミカツキグサなどが使い分けられている ・傾斜地では、根付く前に雨で種子が流れてしまうので、「緑化ネット」で押さえる方法が主流となっている。「緑化ネット」は、黄麻の糸から作ったもので、3－4 年（尾瀬の場合は、気温が低いため、標準よりは時間がかかる）で腐蝕する環境にやさしい素材である ・尾瀬沼西岸の「沼尻」から「ナデッ窪」へ向かう途中の木道わきの「ヌマガヤ」と「緑化ネット」の様子を以下に示す



「ヌマガヤ」と「緑化ネット」 植生復元した「沼尻休憩所」遠景

- ・尾瀬にはじめて木道ができたのは、昭和 27 年で、大江湿原～赤田代である。その後、木道は整備され、湿原の保護に役立っている。腐りにくいことから主にかまづを使用している。定期的な修復が必要だが、最近は木材の調達が難しくなっているようだ
- ・昭和 47 年からは、ごみ持ち帰り運動がはじまり、昭和 48 年には、ごみ箱が撤去され、尾瀬はきれいになっている
- ・尾瀬ヶ原では、「ポッカ」さんが、大きな荷物を背負って歩いているが、尾瀬沼近辺では、馬や渡船が利用されていた。いずれも環境問題を考慮し廃止



沼尻付近の船着場跡

(ご参考)

- ・至仏山での植生復元作業 (2012. 10. 3)



作業前



筋工の設置と緑化ネットの敷設



昨年の作業現場と今年の様子

イワイチョウやシブツアサツキなど、多くのイネ科・カヤツリグサ科の植物の芽生えを見ることができる

(財)尾瀬保護財団ホームページより許可を得て転載

<http://ozereport.blog117.fc2.com/blog-entry-267.html>

・今回のコース

22:05 新宿発、夜行バスで4:10 戸倉着。シャトルバスに乗り換えて、鳩待。5:30 外来種侵入防止の「種子落としマット」で靴を拭いてから入山。山の鼻、牛首分岐、竜宮、見晴、沼尻（昼食）を經由して、12:30 長蔵小屋別館。

(財)尾瀬保護財団フィールド講座「尾瀬湿原復元の歩み」参加。「沼尻」等見学。

翌日、10:30 長蔵小屋別館発、11:30 沼山峠。桧枝岐で、温泉（「燧の湯」）、裁ちそば（「開山」）を満喫し、会津高原尾瀬口から野岩鉄道・東武鉄道に乗車、帰京。

山行中、雨には遭わなかったが、夕刻からは台風の影響で特急が全て運休となり、普段の倍近くの時間を要した

尾瀬ヶ原、尾瀬沼方面の入山規制

- ・ 一般の入山規制はない
- ・ 自家用車は戸倉または御池までしか入れない
- ・ 宿泊施設は、完全予約制
- ・ トイレは有料、各宿泊施設に風呂はあるが、石鹸等の使用は禁止

主な問い合わせ先

- ・ 宿泊について
- 長蔵小屋 <http://www3.ocn.ne.jp/~chozo/>
- 尾瀬林業（尾瀬戸倉支社） <http://www.welcome-to-oze.com/>
- ・ 尾瀬に関する各種情報、植生回復作業などのボランティア情報
- 尾瀬保護財団 <http://www.oze-fnd.or.jp/>

もっと知りたい方

- ・ 尾瀬国立公園（環境省） <http://www.env.go.jp/park/oze/>

記録作成

2012.9 三谷洋、協力：野村和代、橋本真吾